

1. 保育理念・目標	1) 保育目標に沿った保育がされている。					
保護者アンケート	とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	よくわからない	園評価
	38%	62%				S
	2) 園の保育理念・保育方針・全体的な計画等を全職員に周知している。					S
	3) 定期的に保育方針や保育観を確認できるような機会を作っている。					S
	4) 子ども一人ひとりの心に寄り添い、個性を伸ばす保育を大切にしている。					S
手立て	子どもの主体的な活動を促す保育、子どもの自主的な活動としての遊びを保障する保育、一人ひとりの特性に応じた保育、人とのかかわりを大切にした保育					
園説明	保育理念を「育ち合う、育て合う」とし、地域社会の中で、親も子どもも共に育ち合うよう努めている。					
改善策	保育理念、保育目標、保育方針に沿って保育するよう、次年度も会議や研修を行い、全職員がよりよい保育が行えるよう、心掛けていきたいと思う。					

2. 発達の連続性を考慮した教育及び保育	5) 園は、クラスの活動、異年齢の交流を通し、適切な環境や援助を行う。					
保護者アンケート	とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	よくわからない	園評価
	60%	40%				S
	6) 全体的な計画をもとに、子ども一人ひとりの発達の姿や興味関心を把握し、年間指導計画、月案、週案、日案を立てている。					S
手立て	縦割りではない異年齢保育、異年齢年間指導計画、全体的な計画等					
園説明	いろいろな活動を通し、異年齢の交流が深まることのできたことはもちろんのこと、生活の中で、自然に子ども同士がかかわることができるようにしている。					
改善策	0歳から小学校就学前までの一貫した教育及び保育を、園児の発達の連続性を考慮しながら、次年度も異年齢年間指導計画を計画、実施していきたいと思う。					

3. 一日の生活の連続性及びリズムの多様性への配慮	7) 園は基本的な生活習慣が身につく、健康な生活が送れるように配慮している。					
保護者アンケート	とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	よくわからない	園評価
	58%	38%	2%		2%	S
手立て	手洗い、うがい、午睡、衣服の着脱、保健計画					
園説明	手洗い、うがいの手順表を子どもたちの目にとまるところに掲示し、行事や普段の保育の中などでも、手洗いうがいの励行の大切さを伝えている。また、クラスだよりや、保健だよりなどで生活リズムを整える大切さ等を保護者にも働き掛けてきた。また、園内研修の中でも再確認するとともに、予防や対処の仕方など、大切なことが保護者にも伝わるよう、大きなポスターを作成、掲示し、園はもちろんのこと家庭でも、健康な生活を送ることができるよう働きかけることができた。					
改善策	朝食や早寝早起きの大切さなど、家庭と連携を図りながら引き続き、働き掛けていきたい。					

4. 環境を通して行う教育及び保育	8) 子どもの興味・関心・発達をとらえ、季節に応じて豊かな体験ができるよう環境の工夫を行っている。					
保護者アンケート	とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	よくわからない	園評価
	76%	24%				S
手立て	教材準備、園外保育					
園説明	自然に接する機会を多く設けることで、社会的事象への関心を広げ、子どもの興味関心に合わせ、季節ならではの遊びができるよう努めたことで、園児が自然や身近な事象への関心が高まっていると思う。					
改善策	次年度も、いろいろな活動を通して、たくさんの経験ができるよう保育環境を整えていきたいと思う。					

5. 安全管理指導 (事故防止防災)	9) 保育園は災害に備えた、地震訓練、火災訓練、津波の避難訓練、不審者訓練、引き渡し訓練等を実施し、危機管理に関する対策を行っている。					
保護者アンケート	とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	よくわからない	園評価
	62%	36%	2%			S
手立て	避難訓練、ヒヤリハット、交通教室、防犯教室、171 訓練、AED 設置					
園説明	年間計画に基づいて訓練を実施し、子どもたちが安全に避難できるよう、職員の連携をとり臨機応変に対応できるように全職員で取り組み、また職員の危機管理意識を高めるために、ヒヤリハットの記入、報告、検討を重ねている。また、クラス懇談会で保護者にも津波避難訓練を想定し屋上への避難体験を実施し、地域の防災会の方々と連携をとり、地区の避難訓練の場所提供なども行い、園内には AED を設置し、AED の講習を受けている。					
改善策	今年度は、AED を設置し全職員で講習を受けた。引き続き、訓練を重ねていきたいと思う。毎月行う訓練の反省や、ヒヤリハットから課題を見付け、改善策を全職員で周知徹底し、的確な状況判断につなげていきたい。					

6. 保健管理指導 (健康教育の充実)	10) 野菜などの栽培を通して、子どもたちの食に対する興味、関心を高めようとしている。					
保護者アンケート	とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	よくわからない	園評価
	76%	24%				S
	11) 献立表や毎日のサンプル展示で、給食の内容を伝えるようにしている。					
保護者アンケート	とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	よくわからない	園評価
	84%	16%				S
	12) 栄養士、保育士が連携し、毎月会議等を行い、よりよい給食になるよう努めている。					
	13) 食育の重要性を理解し、一年を通して季節や年齢に合わせて食育計画を立て、実施している。					
	14) 食物アレルギー児の対応については、家庭との密接な連絡を図ると共に、安全に提供できるようにしている。					
手立て	野菜の栽培、紙芝居、絵本活用、給食室との連携、食育会議、レシピ作り、給食試食会					

園説明	一年を通して、広い畑でたくさんの野菜を育て、収穫し、クッキングや、収穫数のグラフや、おせちや恵方巻きなどその季節のことをエントランスに掲示、栄養士と連携しながら食育講座の実施やレシピ作りを通して、食に対する関心を高めることができた。保育参加週間で試食してもらった給食のレシピも充実することができた。また今年新たに畑の手伝いのボランティアを募集したところ、たくさんの方の希望があり、ボランティアの方々と園児と一緒に、栽培の楽しさや食材への興味を十分に高めることができた。
改善策	園芸や食育の年間計画を、次年度も計画、実施し、給食レシピもさらに増やしエントランスに設置し、保護者に発信していきたい。今年度の給食試食会は、手作りおやつを試食会を実施しすることができ好評であった。

7. 特別支援教育 (支援体制づくりの推進)	15) 子どもの特性を生かし、一人ひとりの育ちに沿った指導内容や対応のもと適切な支援を行っている。	園評価 S
	16) 配慮を必要とする子への対応は、職員間で共通意識を持ち、その子に応じた対応をしている。	S
手立て	ケース会議、研修会参加、専門機関との連携	
園説明	専門機関や（うみのこセンター、言葉の教室、保健センター、児童相談所、里親など）医療福祉専門機関との連携や研修会に参加し、個々に応じた指導内容の助言・援助を活用し支援している。また、ケース会議で一人ひとりの子どもの育ちや特徴を理解、情報の共有し支援を行っている。	
改善策	一人ひとりの個性を大切にしながら、クラス担任だけでなく、各子どものように発達を職員で共有しながら、園全体で育てる、成長を見守る姿勢の体制づくりに心掛けていきたいと思う。	

8. 組織運営	17) 園の職員が連携協力し合い、教育、保育を進めている。	園評価 S
	手立て	職員会議、研修報告、朝礼、夕礼
園説明	子ども一人ひとりの健やかな成長を願い、健康状態、発達の状況、家庭環境など職員間で情報を共有し共通理解を図っている。全職員への連絡もれがないよう、連絡ノートの活用により、さらに情報が共有できるようになっている。	
改善策	次年度も毎日の保育の中で伝達不十分なことがないよう、報告連絡相談を意識し、全職員への伝達、周知に努めていきたいと思う。	

9. 研修 (研修体制の充実)	18) 園は、研修を通し学び合う機会を作り、子どもの育ちにつなげていくよう努力している。	園評価 S
	19) 保育士一人ひとりが、自己評価を行い、その問題解決のために向上心を持って取り組んでいる。	S
手立て	園内研修、幼児研修、乳児研修、感染症研修、エピソード研修、自己評価研修	
園説明	今年度の園内研修では、安全対策、AED研修、エピペン研修、感染症研修、保育所保育指針の研修などに力を入れ研修を続けてきた。園外研修では、キャリアアップ研修に多々参	

	加することができた。					
改善策	新保育所保育指針の内容を保育に生かし、よりよい子どもの育ちを考えて保育できるよう、園内、園外共に、さらに研修を重ね、職員の資質向上に努めていきたいと思う。					
10. 教育・保育環境 設備、充実	20) 子どもたちが楽しく夢中になって遊び、子どもの育ちにとって、様々な経験ができるよう環境が整えられている。					
保護者アンケート	とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	よくわからない	園評価
	56%	42%	2%			S
手立て	園庭、大型遊具、環境構成、					
園説明	子どもの発達や興味に合わせ、環境の工夫や玩具等の見直し点検を行い、子どもたちが意欲的に遊べるよう配慮し、遊びを通して何を学んでいるか、何が育っているか、何を育てたいのかを考え、次につながる環境構成やかかわりを計画、実施してきた。また、自園では、遊びが継続できる環境を整えていることで、子どもたちが、自分で考え、試したり工夫したりして、発展し継続して遊ぶ楽しさを味わうことができている。					
改善策	今後も、遊びの継続や展開がされていくために、どんな玩具や教材、環境が必要か検討し、物的環境を整えていきたいと思う。					

11. 家庭との連携、 協力	21) 情報発信として、おたよりやホワイトボード、写真、ホームページ等で、教育・保育内容や、子どものようすを知らせている。					
保護者アンケート	とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	よくわからない	園評価
	58%	38%	4%			S
手立て	園だより、クラスだより、保健だより、給食だよりの発行、ホワイトボード、連絡ノート、行事や日々の活動の写真の掲示、送迎時の口頭伝達					
園説明	日々の子どものようすをクラスのホワイトボードや連絡ノート、送迎時の口頭伝達、写真などで、情報発信し、子どものようすを伝えるよう心掛け、育児相談等成長と一緒に喜び合える関係づくりを築いていけるようにしている。					
改善策	今後も引き続き、子どもたちの生活のようすを伝える努力をし、発達や育ちなども知らせるなど、保護者の子育て支援を行っていきたいと思う。					

12. 近隣の学校との 連携、推進	22) 園は、近隣校との連携を図るように努めている。					
保護者アンケート	とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	よくわからない	園評価
	48%	46%	2%		4%	S
手立て	公開保育、公開授業研修参加、中学生職場体験、大学生実習、特別支援学校見学研修参加、私立小学校訪問、小学校体験、小学一年生交流会、子どもの様子に関する情報交換、小学校教諭による保育参観、行事を通じた交流活動、交流活動前後における小学校教諭との打ち合わせなど					
園説明	小学校入学に向けて、アプローチカリキュラムを作成し、公開保育を実施し、小学校の教諭による保育参観や意見交換など連携を深めている。また、年長児と一年生との交流会や、小学校校舎見学、授業体験参加等を行っている。今年度は、年長児が3校の小学校を歩いて訪問し、交流をおこなった。					

改善策	小学校との連携を取り、小学校訪問を継続し、子ども自身が学校を身近に感じ期待が持てるようにしていきたいと思う。					
13. 地域との連携 (信頼される園作りの推進)	23) 地域に開かれた保育園を目指し、様々な取り組みを行っているが、保育園は地域とのつながりが深まるよう努めている。(具体例：職場体験、実習生受け入れ、やまもの会、子育てトークの会、ふれあい会、地域防災訓練等)					
保護者アンケート	とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	よくわからない	園評価
	54%	42%			2%	S
	24) 中高生、大学生等のボランティアや実習生を積極的に受け入れている					S
手立て	園庭開放、育児講座、職場体験、実習生受け入れ、S型サービスやまもの会、子育てトークの会、ふれあい会、グループホームたみの里訪問（認知症対応型共同生活介護施設）、地域防災訓練、絵本読み聞かせの会等					
園説明	一年を通し読み聞かせ等のボランティア人材の活用、高齢者施設訪問や子育て支援等を行い、自治会長や民生委員の方々と連携し、地域のつながりを深めることができた。					
改善策	今年度は、ホームページの内容も充実し、未就園児対象の行事や見学等の申し込みもホームページよりできるようになったことで、希望者も増えている。「地域に開かれた園」として、パンフレット、ひろばのお知らせを近隣地区の回覧板で知らせ、ポスターでのPR、会報の郵送なども行っていることで、新規の参加も増えているため、未就園児を持つ保護者同士の交流の場として、引き続き、子育て支援サービスが地域に広がるよう継続していきたいと思う。					

お忙しい中、保護者アンケートのご協力ありがとうございました。11月に実施しました「保護者アンケート」の結果をお知らせします。多忙な中でのご協力に感謝申し上げます。

この保護者アンケートは、園ならびに保育士等職員の取り組みを見つめ直し、今後の改善に向けていけるよう行いました。保護者の皆様からの貴重な声をもとに、さらなる保育環境の充実及び保育士等職員の資質向上に努めていきたいと思っております。